GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1.早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	次世代型太陽電池の開発
b.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	洋上風力発電の低コスト化

2.具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	次世代型太陽電池の開発
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	ペロブスカイト型太陽電池の実用化動向を注視するとともに、性能、安全性、耐久性および設置条件等を踏まえ、当社事業所への導入を積極的に推進します。

b.	洋上風力発電の低コスト化
対象行動	最終製品・サービスの購入・販売
概要	当社は、軸受や状態監視システム等の提供および技術開発を通じて、洋上風力発電設備の信頼性および稼働率向上による低コスト化に貢献するとともに、当社製品が活用される洋上風力発電由来の電力または環境価値の調達を積極的に推進します。

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	次世代型太陽電池の開発
削減対象	Scope 1＋2
目標年度	2030年度
基準年度	2018年度
目標削減率	50%
削減目標における選択対象の位置づけ	ペロブスカイト型太陽電池は、再生可能エネルギー導入の選択肢を拡大する技術の一つとして期待しており、その導入を通じてScope 2排出量の削減に取り組みます。

b.	洋上風力発電の低コスト化
削減対象	Scope 1＋2
目標年度	2030年度
基準年度	2018年度
目標削減率	50%
削減目標における選択対象の位置づけ	当社製品が活用される洋上風力発電由来の電力または環境価値の調達を通じて、Scope 2排出量の削減に取り組みます。

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	次世代型太陽電池の開発
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

b.	洋上風力発電の低コスト化
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	子会社

※ただし、GXフューチャー・リーグ意向確認書に記載の子会社に限る

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年10月22日

NTN株式会社

代表執行役 執行役社長　鵜飼 英一